

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

11月号

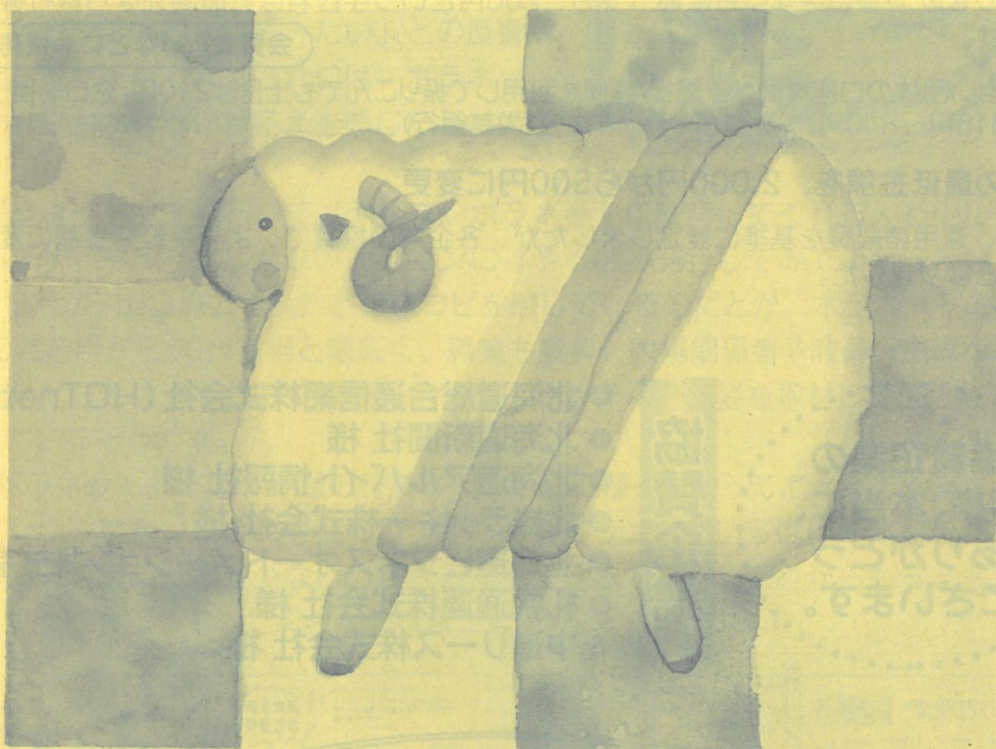
無料

10月25日発行(第39号)

ボラナビとは

ボランティアナビゲーション(案内役)
を略した造語です。

今月の表紙は、小樽市の大学生、吉田美雪さん(21才)の作品です。美雪さんは「イラストレーターになれたらなあ」と話していました。柔らかそうな羊を包んでいる3本のリボン、読者の皆さん、何色だか分かりますか?知りたい方は、ボラナビHPをチェック!カラーで見ると、イラストからさらに温かさが伝わってきますよ。



特集

「ねっとぼ金」近況報告!

ボランティア活動

「よくばり」体験

NPO パワーアップセミナー報告 後編

もうアクセスしましたか？

「ねっとぼ金」近況報告！

☆登録団体数104☆(10月1日現在)

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi>

9月1日からスタートした「ねっとぼ金」。おかげさまで、バナー広告を出してくださる協賛企業が予想以上に増えました(現在7社)。そこで、できる限り多くの方に募金をしていただき、各団体にお届けできるよう、運営のシステムをいくつか変更しました。①は9月1日にさかのぼって適用します。

① 各団体に負担していただく運用諸経費を、募金額の20%から一律200円に変更

ボラナビ倶楽部が「ねっとぼ金」を運営するためには、さまざまな運用諸経費がかかりました。そのため、当初、各団体から、受ける募金額の20%を負担していただく予定でしたが、各企業の協賛により、変更して一律200円といたします。募金を受ける団体にとっては、受けられる金額が多くなります。募金をする方にとっても、200円という手数料は、時間外なら銀行振込より安くなります。

会費支払いなどにも便利です！

※寄附したい団体の口座を調べて銀行ATMを利用して振りこんでも土日は210円、窓口を使ったり他行へだと315円～840円、手数料がかかります(道内某銀行)。

② 募金の最低金額を、2,000円から500円に変更

当初は、運用諸経費を基準に設定しましたが、各企業の協賛で、より手軽な金額に変更することが可能となりました。

協賛企業の
皆様、本当に、
ありがとうございます。

協賛企業

- 北海道総合通信網株式会社 (HOTnet) 様
- 北海道新聞社 様
- 北海道アルバイト情報社 様
- 北雄ラッキー株式会社 様
- 北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- 札幌通運株式会社 様
- 中道リース株式会社 様

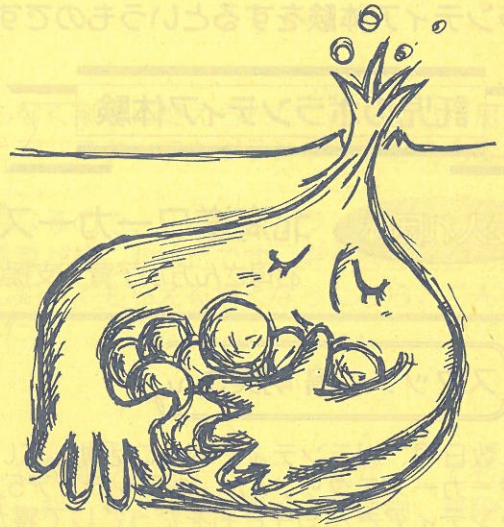
■お知らせ■

ボラナビ倶楽部「ねっとぼ金」では、9月11日に発生したアメリカ同時多発テロで被害に遭われた人達のために、赤十字などを通して義援金を送ります。また、報復テロによってさらにつらい状況におかれている難民の方々のためにも、私たちでできることをしていきます。詳しくはホームページをご覧ください。

静内町にボラナビの仲間が誕生!!

「月刊ボラナビ」の仲間が北海道静内町に誕生しました。その名も「月刊しずないボラネット」。昨年9月の「静内町ボランティアの集い」でボラナビスタッフの講演を聞き、「静内にもボラナビのような情報誌を作ろう」と始まったそうです。

4月20日に発行した創刊号では、町サービスセンターで活動しているグループの1日を紹介しています。記事を読んだ町民から早速「ボランティアをしてみたい」との反響が寄せられたそうです。これには、ボラネットスタッフもかなりの手応えを感じたみたいですよ。



「ボラネット」を発行してはや半年。ボラネットに賛同してくれる人も少しずつ増えています。ちょっとしたリアクションに『やっぱり発行してみてもよかったな』（ボラネット代表 山口修二さん）とヨロコビを感じているのだとか。ボラネットのスタッフは20代前半から60代後半と幅広く、職業も農業、牧場関係者や教員、主婦など多彩で『自分たちとは違う分野で頑張っているボランティアの姿を取材して勉強になる』と言っているそうです。

「ボラネット」には、地域の行事予定や活動の様子も載っててとっても楽しそう。色もピンク、黄色、緑と毎号変わり、かわいいイラストもいっぱいです。まだまだボランティア募集の記事が少ないのが悩みの種だそうですが、これからもっと多くの人たちに読んでもらって、たくさんの情報が集まるといいですね。

月刊しずない 静内町ボランティア情報誌

ボラネット

5月号 創刊

特別 ▶ ボランティアが100日に達!!

静内町サービスセンター

あさごも ひとごと

温泉やプールでの男の子の入浴 着替えを手伝って!

温泉水療センター

真下建設㈱ 真下マツキ

本誌を打って参加してください

児童館でボランティア募集!

夏だ! 花火だ! ボラネットの真実!

記事募集しています!

情報と裏技を持って!! 得ていきましょ!!

7月のボラネットのぞき!

ボランティア募集!

「よくばり」体験

ボラナビ8月号で呼びかけたボランティア活動よくばり体験を9月に実施しました。いろんな分野のボランティア（NPO）10団体のうち、好きなところで、短期限定のボランティア体験をするというものです。二つの団体での体験の様子をご紹介します。

託児のボランティア体験

受入れ団体

北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会 託児部会

お母さん方が子育て支援の講演会を聞いている間などに、子供の遊び相手をする。

スタッフ 嶋 明美さん

数日間、ボランティアさんに活動していただきました。ある日は子ども22人（0～3歳）をワーカーズスタッフ8人、ボランティア5人で、受け入れました。泣いている子が多い中、ボランティアさんも子どもをだっこして寝かせたり、遊びに入りずらそうにしている子をうまくリードしたりと、スタッフと同様に動いてくれました。ただ参加すればいいということではなく、その時間、自分は何が出来るか、どうしたらよいかという意識を持って積極的に関わってくれていました。ありがとうございました。

ボランティア体験者 高瀬 麻衣さん

私は、短大の保育科に通っている学生で、将来は子どもと接する仕事に就きたいと思っているので、今回の託児のボランティアは実際に子どもたちと触れ合うことができる絶好のチャンスでした。

当日は、お母さんの元から離れると、とたんに泣き出してしまいう子や、ジーっとだまって一人遊びをする子など、様々な子どもの様子が見られました。スタッフの方たちの子どもへの言葉がけや配慮がものすごく勉強になりました。この経験は、秋の保育園実習の予習になったと思います。改めて自分の将来やりたいことは保育関係なんだということが、わかりました。



ボランティア体験者 鈴木 佳奈子さん

最初、私は、ぼう然と見ているだけでした。こんなにたくさんの幼い子どもたちと接したことがなかったので、何をすればいいかわからなかったのです。一人の女の子に声をかけ、しばらく一緒に遊びました。そのあと、別の子をあやしたりしていると、最初に遊んだ女の子が、「一緒に遊ぼう」と言ってくれました。これが打ち解けた瞬間なんだと感動しました。

このボランティアで、子どもと接していくには子どもと対等に向き合って心を開くことが大切だということがわかりました。貴重な体験をありがとうございました。

●北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会 託児部会

連絡先 TEL 011-846-8463 (担当 喜多) HP <http://www2.ocn.ne.jp/~wco28/>

街歩き調査のボランティア体験

受入れ団体 景観プロジェクト

グリーンマップ作成のために、街を歩いて、歴史ある建物や樹木の種類を調査する。

スタッフ 東田 秀美さん

調査両日ともまずまずのお天気で、何の事故もなく無事に終わられたことを嬉しく思います。一緒に街を歩き、さまざまな発見をすることで、スタッフもボランティアさんも変わりなく、同じ驚きと感動を共有することができました。

当団体は他の福祉系などとは活動内容がかなり異なるので、「こんなボランティアがあるんだね」という、参加して下さった方の感心した言葉が嬉しかったです。好きなことから始めることで、いずれ大きな力になることを皆さんに知ってもらえる場となったなら、こんなに嬉しいことはありません。ありがとうございました。

ボランティア体験者 花野 美和さん

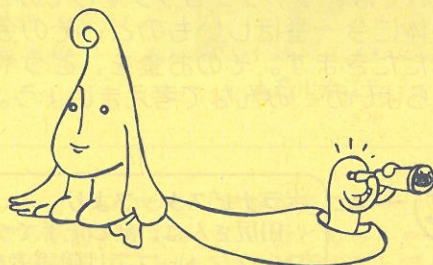
街歩きが好きだからという単純な理由から参加した景観プロジェクトでしたが、とても楽しく、円山地区を広範囲にわたって歩く事が出来ました。見るからに古そうな建物、普段では見逃してしまいそうな昔の看板、なぜそこにあるのか不思議なポンプ、狭い土地にも力強くそびえる立派な木など、ステキなものに出会ったときには、まるで宝物を探し当てたように嬉しくなりました。また、スタッフやボランティアの方々との出会いも宝物です。

ボランティア体験者 竹本 智美さん

「何かやりたいなあ」と思いながら、毎月、「ボラナビ」を読んでいました。そして、今度の活動を知り、1日ずつの参加という気安さも手伝い、申し込むことに決めました。

もともと、近所のお店に出かける際も、いろいろな道をとめしたり、家や庭を見るのも好きだったため、「グリーンマップ」作りは、すんなりとするのできる活動でした。余計な制約がなく、自分の興味のおもむくままに、建物や植物を見ることができ、より楽しさが増しました。

これからも、自分のペースで参加させていただけると、うれしいなあと考えております。



●景観プロジェクト

連絡先 Fax 011-612-0518 (担当 東田)
e-mail yuta@mpd.biglobe.ne.jp

他の受け入れ団体での体験の様子は、次号以降ご紹介いたします。

NPO パワーアップセミナー報告 後編

ボラナビ 10月号に引き続き8、9月に4日間にわたって行なわれたNPOパワーアップセミナーの後半の講義内容を紹介します。受講したNPO関係者は、道外から招いた経験豊富な講師陣に具体的なアドバイスをいただき、さらにパワーアップをはかりました。

第3講義
9月7日(金)
13:00～18:00

「財政基盤の確立と強化」



田尻佳史氏 ▶

ト
レ
ー
ナ
ー

田尻佳史氏（日本NPOセンター事務局長）

大学卒業後、ケニアに渡り、現地のNPOが運営する養護施設にて4年間メンバーとして関わる。帰国後、大阪ボランティア協会の職員となり、特に企業や労働組合の社会貢献活動推進の企画担当者として従事。1996年11月より日本NPOセンターへ出向となり、2001年7月より現職。

NPOの財源には大きく分けて4種あります。

- ① 会費
- ② 助成金や補助金
- ③ 自主事業収入
- ④ 受託事業収入

NPOは、団体ごとにさまざまな組合せの財源をもっていますが、社会状況の変化があっても組織を安定して運営するために上記の4種の財源をバランスよく持つことが理想です。事業性のある財源は、かなりの利益を生むものもありますが、ミッションとの整合性が課題になります。ミッションを見失うと組織が成り立たなくなってしまう。NPOは、その目的を忘れず、長期的視野にたって資金循環を考えなくてはなりません。

それでは、ワークショップをしてみましょう。各団体に今一番ほしいものと、その金額を話していただきます。そのお金を、どうやって調達したらよいか、みんなで考えましょう。



ボラナビスタッフより

田尻さんは、話し上手でついつい引き込まれてしまい5時間の講義があっという間でした。ワークショップでは障害者や高齢者を送迎するリフト付ワゴン車がほしい団体がいくつかありました。田尻さんによると車にお金を出してくれる財団や団体は結構あるそうです。助成金や補助金に関する情報収集は大切ですね。

第4講義
9月8日(土)
10:00~16:00

① 「人と組織の育て方とは？」



川北秀人氏▶

トレーナー

川北秀人氏 (IIHOE人と組織と地球のための国際研究所・代表)

1987年京都大学卒業。(株)リクルート勤務の後、国会議員政策担当秘書やNGOリーダーなどを務め、市民と政治、環境、国際交流などで活動。94年「IIHOE人と組織と地球のための国際研究所」を設立。人事、組織戦略、環境問題などのコンサルティングを行うとともに、各種セミナーを開催中。

組織の運営には「ヒト、モノ、カネ、情報」という4つの「経営資源」が必要不可欠です。でも、NPOにおける待遇や福利厚生のある方は、企業や行政機関と大きく異なります。全員が有給といえどもいかに、給与支給額が増えればよいというものでもありません。NPOのなかで人材を育てるポイントをいくつか紹介しましょう(ほんの一部)。

- ・ 成果や努力に対する感謝を伝える方法を重要視する。最も貢献したボランティアを表彰するなどの工夫、つまり「感謝のデザイン」をすること。
- ・ 良いルール(タイムリーである、基準がわかりやすい、修正の手順がわかる)を作ること。
- ・ 自分の組織になぜボランティアが必要なのかを考える。ボランティアを「無料の労働力」と考えない。(IIHOEのボランティアスタッフに対する川北さんの考え方は、「社会に対して必要な仕事だと思ったら、有償無償に限らずやる必要がある」というものでした。納得)

② ワークショップ

トレーナー

石川治江氏 (ケア・センターやわらぎ・代表理事)

1978年在宅障害者の生活支援をするボランティア組織を発足。24時間365日の支援体制を組むが、慢性的な人手不足を理由に8年間の活動にピリオドを打つ。87年に「ケア・センターやわらぎ」を設立。24時間365日の体制で、地域を限定せず有償在宅福祉サービスを行っている。

ワークショップ：自分のミッションを紙に書き、相手に伝える

参加者が8つのグループに分かれ、それぞれ3分ずつプレゼンテーションを行いました。事業を進める上で、共感者を集めることの大切さを体験的に習得するワークショップでした。それぞれのミッションは以下の通り。「助け合い、地域交流」という意味でみんな考えが重なっている部分が多いことがわかりました。

- ①夢の老後実現へ
- ②街角ふれあい御殿
- ③地域生活支援センター
- ④ホームスクーリング
- ⑤コミュニティの再生
- ⑥若者応援牧舎
- ⑦学生のための職業観育成事業
- ⑧夢の老人下宿



▲石川治江氏



ボラナビスタフより

石川さんのワークショップ終了後、川北さんがプレゼンのコツを「結論を先に言う」「相手の顔を見ながら話す」「聞いていないなと思ったら話題を変える」ことだとおっしゃっていました。また、石川さんの「115%の目標—全力疾走のちょっと向こうを目指すことで人は伸びる!」という言葉も印象的でした。NPOにとって人材の育成は何より大切なこと。非常に興味深い5時間でした。



みなさまからのお便り特集

ボラナビ倶楽部では、みなさまからのお便りをお待ちしております。メール、FAX、お手紙などでどうぞお寄せください。よろしくお願いいたします。



ひまわり共同作業所

私達ひまわり共同作業所のアルミ缶回収作業にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。おかげさまで、掲載後すぐに電話だけでも10件ほどの問い合わせを頂きました。その他にも、知らないうちに作業所の前にアルミ缶がおいてあることもあります。こうして集めていただいたアルミ缶は、作業所にある専用の機械でつぶし、アルミ業者に持っていくことで収入となります。今は、1キロ55円です。その収入を利用者の手当てとして役立たせてもらっています。私達の作業所のほかにも北区、東区の作業所でもアルミ缶回収作業をしていますので、ご協力をお願いします。

●お問い合わせ●

住所 札幌市豊平区美園6条8丁目1-18 (ひまわり共同作業所)

TEL/FAX 011-813-5999 E-mail cbe32860@pop06.odn.ne.jp



ボラナビ4月号で「障害者・高齢者の介助有償ボラ」を募集した中場さん

先日は介助ボランティア募集の記事にたくさんの方からご連絡をいただき本当にありがとうございました。ボラナビを見て40~50名の問い合わせがありました。いろいろな方法で募集しましたが、ボラナビの反響が一番でした。40、50代の主婦の方が一番多く、早速何人かの方に実際に活動していただきました。東区にあるということで北大や藤女子大の学生さんからもたくさんの問い合わせがあり、遠くは江別の大学から来てくれた方もいました。今は下記のように募集しています。今後ともよろしくお願いいたします。

障害者・高齢者の介助 ヘルパー 募集

●**内容**：ホップ障害者地域生活支援センターでは、地域で暮らす障害者・高齢者の方を対象にした日常生活の介助をしてくださる方（アテンダント）を募集しています。仕事の内容は、パソコンを使っての入力介助（女性）、夜間入浴介助（男性）、宿泊介助（男性）で急ぎで募集しています。また、車椅子やストレッチャーのまま乗れるリフト車両の運転手さんも募集しています。興味を持たれた方は是非ご連絡を下さい。

●**年会費**：3000円（アテンダントさんは全てホップ障害者地域生活支援センターの会員になっていただきます。会費はボランティア保険料や明細書などの郵送料として使われますのでご理解ください）

●**備考**：1時間800円。アテンダントさんにはこの他交通費（上限500円まで）をお支払いします。

●**連絡先**：ホップ障害者地域生活支援センターあてんど

（東区北20条東1丁5-1 大西ビル1階）

TEL 011-748-6220 FAX 011-748-6221 (担当中場)



ボラナビでは、今、1月号に掲載する情報を集めています。11月25日までに、最終ページにあるボラナビの宛先までお寄せください。
※ボラナビは、掲載されている団体の全てを把握しているわけではありません。詳細はそれぞれの団体にお問い合わせください。

イラスト：タケダミヲ

常時 子どもの保育園送り迎えをしてくださる方 募集

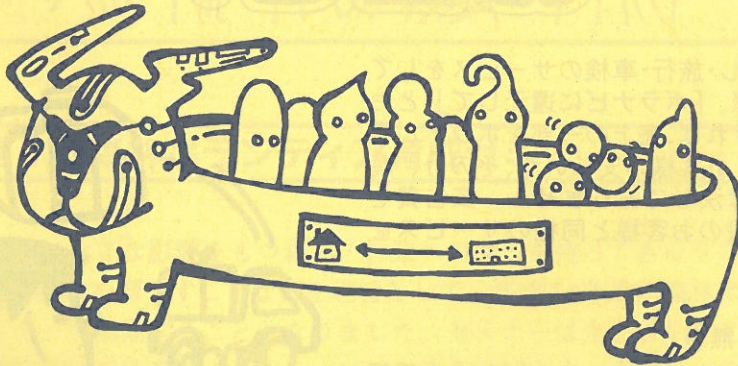
●**内容**：脊髄損傷の母親です。常時車いすを使用しているため、家から保育園まで子どもの送り迎えをしてくださる方、一緒に遊んでくださる方を募集しています。子どもは健康な子で4才の男の子ですが、元気で明るく人なつこい性格をしています。第2・4土曜日は保育園がお休みなので、一緒に遊んでいただける方をお願いします。子どもが好きな方であればどなたでもかまいません。保育園の送迎にバスを利用して頂いて結構です。なお、交通費は当方で負担、ボランティア保険もこちらで加入いたします。よろしくお願ひいたします。

●**日時**：日曜日以外 9:00～9:30 17:00～18:00の間

●**場所**：(自宅) 南区石山2条8丁目～(保育園) 石山1条4丁目

●**連絡先**：TEL/FAX 011-593-7163 (菅原)

●**備考**：交通費はお支払いしますが、できれば近所の方をお願いします。



全世界の障害者が連帯する第6回障害者インターナショナル(DPI)世界会議札幌大会が、2002年10月15日から18日に札幌市「きたえる」で開催されます。

だれもが元気に暮らせる優しい街づくりを、北海道新聞は積極的に応援します。

北海道

道新は応援します、DPI世界大会。

道新は、北海道の元気を応援します。
北海道新聞
<http://www.hokkaido-np.co.jp/>

12/23
1/5

平成13年度「子ども長期自然体験村」ボランティアリーダー募集

●**内容**：支笏湖ユースホステルでは、平成13年度「子ども長期自然体験村」（文部科学省委嘱事業）を全国の小学4年生から中学生まで24名を募集して12月23日から来年1月5日まで13泊14日の日程で行います。つきましては、子どもたちと生活を共にし、様々な体験活動と一緒にしていく中で、子どもたちのお世話をしてくださるボランティアリーダーを募集しています。高校生から25歳くらいまでの方で、子どもが好きの方、このような体験活動に興味がある方ならどなたでもご応募いただけます。ぜひご連絡ください。

●**募集人数**：高校生の方はサブリーダーとして、それより上の年齢の方はリーダーとして、それぞれ若干名。また、子どもたちの食事の準備、掃除等の後方支援ボランティアも同時に募集しています。

●**日程**：12月23日～平成14年1月5日

●**その他**：性別、経験は問いませんが、全日程を通して参加できる方を優先させていただきます。

●**場所**：支笏湖ユースホステル

（千歳市支笏湖温泉 JR千歳駅または苫小牧駅からバスで40分）

●**応募・問い合わせ先**：TEL 0123-25-2311 FAX 0123-25-2312

E-Mail : shikotsuko@jyh.gr.jp

引越し・旅行・車検は札幌にお任せ!

札幌通運では、引越し・旅行・車検のサービスをしています。ご利用の際、「ボラナビに還元して」とおっしゃっていただければ、売上の一部をボラナビ倶楽部に還元します。お客様の支払いが、その分、高くなるということは決してありません。広告費を抑えています。一般のお客様と同様のサービスをご利用ください。

引越し…見積もり無料。

旅行…JTB、北海道ツアーシステムなどの大手国内外旅行も、同金額、同サービスで取り扱っています。

車検と保険も取り扱っています。

お問い合わせ・お申し込みは……

札幌“はこび愛ネット”推進事務局

札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル2階

TEL 011-251-4120 FAX 011-251-3315 (担当・佐藤)





ケアレクリエーション講習会

●**内容**：ケアレクリエーションとは、介護（Care）とレクリエーション（Recreation）を融合させた造語です。高齢者レクリエーションは、「介護技術の提供」「高齢者心理の理解」が前提となり、初めて可能となります。ケアレクリエーションは、「介護現場におけるレクリエーション実践」を意味します。この度、下記のとおり「ケアレクリエーション講習会」を実施することになりました。講習の内容は、高齢者レクリエーションの実技、障害形態別レクリエーションの実技などです。ケアレクリエーションに興味のある方ぜひご参加ください。

●**日時**：11月11日（日）13:30～16:30（受付は13:10から）

●**会場**：きたえーる 地下1階 剣道室（豊平区豊平5条11丁目1-1 地下鉄東豊線 豊平公園駅直結）

●**参加費**：一般2000円 学生1000円（当日、受付でお支払いください）

●**持ち物と服装**：セロテープ・はさみ・黒マジック・朝刊2部・フェイルタオル・うちわ・上靴。運動しやすい服装でお越しください。

●**参加定員**：50名

●**申込み方法**：氏名・年齢・住所・電話番号・職業をご記入の上、下記申込み先までFAXまたは郵送にてお申込みください。

●**申込みと問い合わせ先**：ケアレク講習会事務局

〒063-0034 西区西野4-3-9-38 南部方 FAX 011-665-1399



第1回森林ボランティア育成ゼミ

●**内容**：地球環境に大きな影響をもつ森林・林業への関心を持ってもらうこと、森林・林業の理解者となり、支援者を増やすことなどを趣旨として、平成14年春に森林ボランティアを発足させるためセミナーを開催することとなりました。セミナーは全6回を予定しており、最終回には北大苫小牧演習林で施業とボランティアの内容を学びます。今回は、その第1回目プレゼミです。実際にボランティア従事を希望されない方、学んだ後に決めたい方も含め、興味のある方どなたでも参加を歓迎します。

●**日時**：11月26日（月）13:30～15:30

●**場所**：かでの2・7（中央区北2条西7丁目）540会議室

●**講師**：北大天塩演習林 前林長 湊克之氏

●**定員**：30名まで 参加費は無料

●**申込み・連絡先**：テーマスクラブ（中央区北1条東1丁目 明治生命ビル（株）CWE内）

TEL 011-241-8155 FAX 011-241-8308

12/9**「21世紀、まちと意識のルネッサンス～市民・NPO、事業者、行政、専門家、それぞれの役割～」**

●**内容**：NPO 法人環境共生国際コーディネートセンターでは、以下の日程で「21世紀、まちと意識のルネッサンス～市民・NPO、事業者、行政、専門家、それぞれの役割～」と題してフォーラムを開催いたします。協議型まちづくりの第一人者である小林重敬先生（横浜国立大学工学部教授）による基調講演の後、フリーディスカッションで先生への質問や参加者同士の意見・情報交換を行います。まちづくりや環境について興味のある方は、どうぞお気軽にお越しください。

●**日時**：12月9日（日）13:30～16:00

●**場所**：小樽まち育て情報センター（小樽市稲穂2-17-1 NTT小樽ビル1階 JR小樽駅より徒歩5分）

●**主催と連絡先**：NPO 法人環境共生国際コーディネートセンター（イクセス）

TEL 011-752-3218（自然文化創舎内）

●**その他**：参加費は無料です。

常時**病院でのボランティア募集**

●**内容**：札幌麻生脳神経外科病院では、次のようなボランティアさんを募集しています。

①学生ボランティアサポート：小学生から大学生までの学生ボランティアさんに、挨拶や仕事の仕方などを助言したり、仕事のサポートをしてくださる大人のボランティア（2名）。

②シーツ交換：シーツ交換と簡単な手作業をしてくださるボランティア。

③縫い物、テーブル洗い：ケープ、尿瓶カバー他、患者さんの生活に関わる縫い物や食事テーブルの洗いなどをしてくださるボランティア（2名）。

●**日時**：①は第2・4土曜日 9:00～11:00 ②は毎週火・水曜日 9:00～11:00（都合のつく曜日だけでも結構です）③は毎週木曜日 10:00～15:00 ※なお、①②③とも継続してきていただける方を希望します。

●**場所**：札幌麻生脳神経外科病院（東区北40条東1丁目）

●**問い合わせ先**：TEL 011-731-2321 FAX 011-731-0559（担当：城）

E-Mail：azamu-ns@ab.inbox.ne.jp

常時**食事調理ボラ&バザーのお手伝いボラ募集**

●**内容**：共同作業所「アトリエポトス」では、①週1～2回昼食を調理してくださる方 ②月1～2回のバザー出店のお手伝いをしてくださる方を募集しています。興味のある方、ぜひご連絡ください。

●**日時**：①週1～2回 10:00～13:00 ②月1～2回

●**場所**：アトリエポトス（中央区北2条西27丁目1-6 地下鉄東西線西28丁目駅下車徒歩5分）

●**問い合わせ先**：TEL/FAX 011-616-0933

常時

LD&ADHD児の学習補助ボランティア募集

●**内容**：「かかわり教室」は、LD（学習障害／読み・書き・計算の困難）、ADHD（注意欠陥多動性障害）など、何らかの発達による未熟さを持った子どもたちへの理解と支援を求めて活動を続けている団体です。この活動のための学習補助ボランティアを募集しています。作業療法・心理・教員課程の大学生など大歓迎です。ぜひご連絡ください。

●**日時**：①教科学習&子どもの為の楽しい英会話：毎週月曜日 17:00～20:00（留学生大歓迎）

②SST（ソーシャルスキル）&教科学習：毎週水曜日 17:00～20:00

③SST &教科学習：毎週土曜日 13:00～19:00

※曜日/時間は自由にお選びください。

●**連絡先**：かかわり親の会 E-mailとFAXのみ 011-642-1124

E-Mail：kakawari@zb.wakwak.com

常時

少年サッカーのコーチ募集

●**内容**：小学4年生の子どもたち15名ほどに、サッカーを教えてください方を探しています。西区・手稲区方面にお住まいの方で、経験者、興味のある方お待ちしております。

●**時間**：平日 16:00～2時間程度

●**場所**：手稲西小学校（手稲区金山3-2）

●**連絡先**：小山 TEL/FAX 011-694-3217 または 岩月 TEL/FAX 011-683-5430

9月の集い

あいにくの雨になりましたが、9月の集いには「親業ほっと」の皆さんにお越しいただきました。この会は、親と子の心の通うコミュニケーションの取り方を中心に講演活動を行っています。1999年の結成以来、講演会のほか、PTAや家庭教育学級などで講演してきました。「子どもの気持ちを受け止める」「親の気持ちを率直に伝える」「親子の対立を解決する」という三つが柱になっています。

講演会では劇を交え、日常生活の様々な場面での対応の仕方を紹介しているそうです。集いではその一部を実演していただきました。親が子どもに対して言いやすいのは、命令・脅迫・説教・提案・理屈・非難・同意・侮辱・解釈・激励・尋問・ごまかしの12パターン。このような言い方ではなく、相手の言葉を繰り返したり、言いかえることで、「相手の気持ちをくむ」ことが大切だそうです。これは人と人とのコミュニケーションの基本であり、親子だけではなく、夫と妻、先生と生徒、患者と看護婦、嫁と姑、上司と部下などの全ての場合にあてはまります。

「親業ほっと」の「ほっと」には、「あたたかい」「ほっとする」「熱い気持ち」などの意味が込められています。楽しくわかりやすい劇とお話をしていただいたメンバーの皆さんは、その名の通り「ほっと」な方たちでした。

（ボラナビ大学生スタッフ 宮崎 理）

常時

あなたも少年たちと一緒に遊びませんか？

●**内容**：札幌市BBS会は更生保護のサークルで、非行に陥ってしまった少年たちとゲームなどをして楽しいひとときを一緒に過ごしたり、少年たちの良き兄・姉または友達として少年たちをバックアップしていくことを目的としています。現在、札幌BBS会では、18～30歳くらいまでの男女会員を募集しています。経験がなくても大丈夫です。少しでも興味がある方、お気軽にお問い合わせください。なお、主な活動内容は次のとおりです。

- ①例会：毎月第1・3木曜日 18:30 から札幌保護観察所内で行っています。行事・活動報告や行事予定を連絡します。
- ②研修会：年4回程度実施し、新人会員の研修や会員のニーズや問題点などを洗い出し、BBSの活動についての理解を深めていきます。
- ③ともだち活動：会員が2人1組で少年と友達として接しながら、彼らの立ち直りを側面から支援していきます。
- ④グループワーク：少年と一緒に行事を行って楽しむ活動です。これまでにスポーツレクやクリスマス会、雪像作りなどを行いました。
- ⑤社会参加活動：月1～2回程度、少年たちと一緒に老人ホームを訪問し、奉仕活動を体験します。

●**問い合わせ先**：札幌保護観察所 更生保護振興課
(中央区大通西12丁目 第3合同庁舎6階)
TEL 011-261-9225 (内線 5208)
または TEL 070-5609-7834 (一戸)

常時

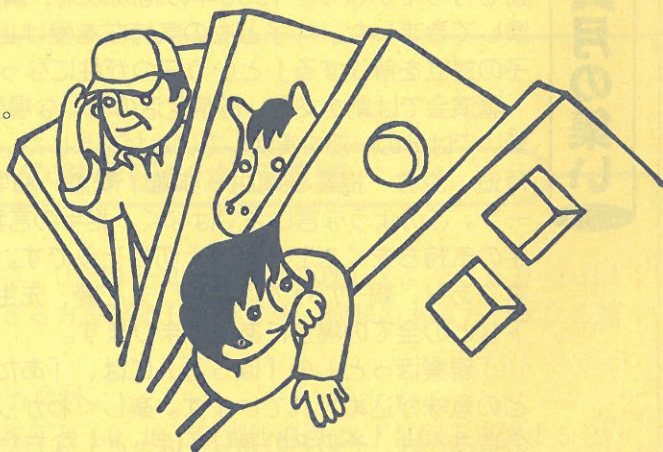
馬の世話や騎乗のお手伝い 募集

●**内容**：ドッグパドルスは、障害のある子どもたちや大人の乗馬活動をサポートしているボランティアグループです。現在、騎乗の補助や馬の世話などをお手伝いしていただける方を募集しています。介助や乗馬の経験は問いません。子どもたちと一緒に自分も馬と仲良くなりたい方、お待ちしております。

●**日時**：火・水・木曜日 15:00～ 土・日曜日 11:00～

●**場所**：北区篠路福移

●**連絡先**：TEL 090-7056-5878 (大林)
※平日の午前中をお願いします。
E-mail：k69@mba.sphere.ne.jp



ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道浅井学園大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学、札幌大学、酪農学園大学、武蔵女子短大

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJOY、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY、ラルズ系スーパー、マックスバリュ<以上のスーパー>の市内全店、札幌フードセンター(平岸、元町、登川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カスタム東苗穂、月寒中央)

●書店●

文教堂 本の店 岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ビュブックセンター(南2西4ピヴォ6階)

●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストエージ 市内全店、T S U T A Y A (北14東6、北3西28)

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

●映画館●

松竹、SY遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公衆、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫 札幌市内と近郊全店、北海道銀行 札幌市内と近郊全店

●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、サンローゼ、サッポロ珈琲館

●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株) 市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、JTインフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)

11月のボラナビの集い

11/17 13:30~15:30
(土) 初心者歓迎!

11月の集いは、アメリカ同時多発テロ事件に関して、日本人の心のケアのために文部科学省の派遣で2週間、NYで活動された札幌在住の小澤康司さんです。

場所：環境サポートセンター
北区北7西5札幌千代田ビル1階
会費：300円。

予定 **12月は15日(土) 13:30~15:30**

場所：環境サポートセンター
北区北7西5札幌千代田ビル1階

ボラナビでは、表紙の絵を募集しています。

応募の方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。



このボラナビが発行される頃、アメリカとアフガニスタンはどうなっているのだろう。同時多発テロ事件を、私は関西空港近くのホテルのTVで見ていた。翌日からヨーロッパ旅行に行くためだ。幸い無事出発し、何事もなく帰国した。言葉の壁があっても人間は分かり合えることを実感した旅の一方で、同じ人間がつくり上げる国家が自ら厚い壁を作ってしまう現実。「話し合いで解決を・・・」こんな考えは甘いのだろうか。報復は平和を生まない。戦わない勇気をアメリカに期待したい。

(謎の編集人 できわいこ)

読者のみなさまへ

- ・「月刊ボラナビ」を定期的にほしい方、お申し込みください。

定期購読料は、半年1500円で、毎月1部ずつお送りします。2~30部ずつ(札幌市外は12部まで)ご希望の場合は、半年で3000円です。この金額は、印刷、郵送費に足りていませんので、特に企業さんがお申し込みの際は協賛のご検討をお願いします。また、これまでの「月刊ボラナビ」をほしい方は、ご希望の号をお知らせの上、郵送料とカンパをお願いします。振込みの際には、お名前、住所、希望部数、FAX番号(もしくはTELかメールアドレス)をボラナビ倶楽部にお知らせください(口座番号は最終ページにあります)。

- ・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか?

広告掲載は、縦4センチ横13センチで6万円です(版下製作もできます)。ボラナビ倶楽部への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させていただいています。企業の方には負担をおかけしますが、広告の数が限られるため目立ちます!掲載希望の際は、ご連絡ください。

※「月刊ボラナビ」は、毎月25日に、2万5千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、JR駅、区役所や社会福祉協議会を中心に350カ所で無料配布しています。

今月協賛して下さった方々 (カキク順)

- ・株式会社コスモメディア (女性情報誌 poroco) 様
- ・札幌信用金庫 様
- ・札幌創成高等学校 様
- ・札幌通運労働組合 様
- ・佐藤水産株式会社 様
- ・城宝 和茂 様
- ・進藤 芳彦 様
- ・鈴木 貞司 様
- ・高垣 正計 様
- ・株式会社 TAQANO 様
- ・株式会社土屋ホーム 様
- ・テーミスクラブ 様
- ・DoCoMo エンジニアリング北海道株式会社 様
- ・DoCoMo サービス北海道株式会社 様
- ・ドコモモバイル北海道株式会社 様
- ・中道リース株式会社 様
- ・株式会社ニトリ 様
- ・幡本印刷株式会社 様
- ・ほくでんぼるねっと 様
(北海道電力内ボランティアサークル)
- ・北雄ラッキー株式会社 様
- ・株式会社ホクレン商事 様
- ・株式会社北海道アルバイト情報社 様
- ・北海道紙商事株式会社 様
- ・北海道振興株式会社 様
- ・北海道新聞社 様
- ・北海道総合通信網株式会社 (HOTnet) 様
- ・北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- ・マイクロソフト株式会社 様
- ・真屋 幹雄 様
- ・株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・渡邊 克彦 様
- ・赤帽北海道事業本部 様
- ・株式会社 NTTドコモ北海道 様

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的なご協賛をお願いします(数号分まとめての振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!)。掲載料は無料です。1月号に掲載を希望される場合は11月25日までに送り下さい。お便りなどもお待ちしております。

ボラナビ

new

ホームページアドレス

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi>

new

メールアドレス

volunavi@npohokkaido.jp

月刊 ボラナビ

■発行:NPO法人 ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899 (電話はかかりません)

■発行日:2001年10月25日

■発行部数:25,000部

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社



R100 PRINTED WITH SOY INK!

この印刷物は古紙配合率100%の再生紙と環境にやさしい「大豆インキ」を使用しております。